

(2012年度)

1 日本史問題 (60分)

(この問題冊子は16ページ、4問である。)

受験についての注意

1. 監督の指示があるまで、問題冊子を開いてはならない。
2. 携帯電話・PHSの電源は切ること。
3. 試験開始前に、監督から指示があったら、解答用紙の右上の番号が自分の受験番号かどうかを確認し、氏名を記入すること。次に、解答用紙の右側のミシン目にそって、きれいに折り曲げてから、受験番号と氏名が書かれた切片を切り離し、机の上に置くこと。
4. 監督から試験開始の合図があったら、この問題冊子が、上に記したページ数どおりそろっているかどうか確かめること。
5. 解答は解答用紙の各問の選択肢の中から正解と思うものを選んで、そのマーク欄をぬりつぶすこと。その他の部分には何も書いてはならない。
6. 筆記具は、HかFかHBの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。時計に組み込まれたアラーム機能、計算機能、辞書機能などを使用してはならない。
7. マークをするとき、枠からはみ出したり、枠のなかに白い部分を残したり、文字や番号、枠などに○や×をつけたりしてはならない。
8. 訂正する場合は、消しゴムでていねいに消すこと。消しきずはきれいに取り除くこと。
9. 解答用紙を折り曲げたり、破ったりしてはならない。採点が不可能になる。
10. 試験時間中に退場してはならない。
11. 解答用紙を持ち帰ってはならない。
12. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

1 日本の古代においては、仏教が政治・社会・文化に極めて大きな影響力を持っていた。以下に掲げた史料A～Jは、そうした仏教の足跡を示すものである。よく読んで、下記の問いに答えなさい。

A 日本国 五年歳次癸酉，沙門榮叡・普照等，聘唐大使丹墀真人広成に随ひて唐国に至り，留まりて学問す。是の歳，唐の開元廿一年なり。唐国の諸寺の三蔵大徳，皆戒律を以て入道の正門と為す。

B それ往生極楽の教行は，濁世末代の目足なり。道俗貴賤，誰か帰せざる者あらむや。ただし顕密の教法は，其の文，一にあらず。事理の業因，其の行惟れ多し。利智精進の人は，未だ難しと為さざるも，予の如き頑魯の者，豈に敢てせむや。

C 夫れ天下の富を有つ者は朕なり。天下の勢を有つ者も朕なり。この富勢を以て，この尊像を造る。事や成り易き，心や至り難き。

D 永承七年壬辰正月廿六日癸酉，千僧を大極殿に屈請し，観音経を転読せしむ。去年の冬より疾疫流行し，改年已後，弥以て熾盛なり。仍りて其の災を除かむが為なり。

E 篤く三宝を敬へ。三宝は，則ち四生の終の帰，万国の極宗なり。何れの世，何れの人か，是の法を貴ばざる。人尤だ悪しきもの鮮し。能く教ふれば従ふ。其れ三宝に帰りまつらずは，何を以てか枉れるを直さむ。

F 宜しく天下諸国をして各敬みて七重塔一区を造り，并せて金光明最勝王経・ 各一部を写さしむべし。朕又別に金字の金光明最勝王経を写し，塔毎に各一部を置かしめむと擬す。

G 物部大連尾與・中臣連鎌子，同じく奏して曰さく，「我が国家の，天下に王とましますは，恒に天地社稷の百八十神を以て，春夏秋冬，祭^(h)拝りたまふことを事とす。方に今改めて蕃神を拝みたまはば，恐るらくは国神の怒を致したまはむ」と。

H 方今，小僧 并に弟子等，街衢に零^{がいく}疊して妄りに罪福を説く。朋党を合せ構へ，指臂を焚き剥ぎ，歴門仮設して強ひて余の物を乞ひ，詐^{いつわ}りて聖道を称して百姓を妖惑す。

I 沙門 は，父母を言はず，亡命して世にあり。……口に常に弥陀仏を唱ふ。故に世に阿弥陀聖と号^なづく。或は市中に住して仏事を作し，また市聖と号づく。

J 大業三年，其の王多利思比孤，使⁽ⁱ⁾を遣して朝貢す。使者曰く「聞くならく，海西の菩薩天子，重ねて仏法を興すと。故，遣して朝拜せしめ，兼ねて沙門^(j)数十人，来りて仏法を学ぶ」と。

問1 史料A～Jは，それぞれある文献の一部を抜き出したものである。それぞれ何という文献か，もっとも適切なものを次の語群から選びなさい。なお，1つの番号を何度使ってもよいが，同じ内容が複数の文献に掲載されていると思われる場合は，そのうちもっとも成立の早いものを答えなさい。

[語群]

- | | | |
|------------|-----------|-------------|
| ① 『日本書紀』 | ② 『日本靈異記』 | ③ 『往生要集』 |
| ④ 『隋書』 | ⑤ 『続日本紀』 | ⑥ 『唐大和上東征伝』 |
| ⑦ 『日本三代実録』 | ⑧ 『扶桑略記』 | ⑨ 『日本往生極楽記』 |
| ⑩ 『梁塵秘抄』 | | |

問2 史料A～Jの下線部(a)～(j), 空欄 ア ～ エ について, 以下の問いに答えなさい。

(1) 空欄 ア には, 日本の元号が当てはまる。もっとも適切な語句を, 次から1つ選びなさい。

- ① 延暦 ② 天平 ③ 天平勝宝 ④ 大宝

(2) 下線部(a)の僧侶たちが, 日本へ連れ帰った僧侶は誰か。もっとも適切な人名を, 次から1つ選びなさい。

- ① 観勒 ② 菩提 ③ 道慈 ④ 鑑真

(3) 下線部(b)は誰か。もっとも適切な人名を, 次から1つ選びなさい。

- ① 慶滋保胤 ② 源信 ③ 空也 ④ 大江匡房

(4) 下線部(c)は誰か。もっとも適切な人名を, 次から1つ選びなさい。

- ① 聖武天皇 ② 称徳天皇 ③ 嵯峨天皇 ④ 醍醐天皇

(5) 下線部(d)は, 何の像か。もっとも適切なものを, 次から1つ選びなさい。

- ① 釈迦仏 ② 阿弥陀仏 ③ 盧舎那仏 ④ 八幡神

(6) 下線部(e)は, 当時, 釈迦の入滅後から一定の年数を経て訪れる特別な時期の初年とされた。その時期を表す語句の1字目としてもっとも適切なものを, 次から1つ選びなさい。

- ① 正 ② 像 ③ 末 ④ 顕 ⑤ 密 ⑥ 邪

(7) 下線部(f)の「三」は、それぞれ何を指すか。もっとも適切な組み合わせを、次から1つ選びなさい。

- ① 仏・法・僧 ② 仏・王・国 ③ 仏・神・王
④ 仏・王・民

(8) 空欄 イ には、ある仏教の経典名が当てはまる。次の短文のうち、その説明として誤っているものを1つ選びなさい。

- ① 天台宗・日蓮宗の根本聖典となった。
② 『金光明最勝王経』『仁王経』とともに、護国三部経と呼ばれる。
③ 伝聖徳太子撰『三経義疏』の「三経」のうちの1つは、この経典を指している。
④ 空海撰『三教指帰』の「三教」のうちの1つは、この経典を指している。

(9) 下線部(g)は誰か。もっとも適切な人名を、次から1つ選びなさい。

- ① 聖武天皇 ② 称徳天皇 ③ 嵯峨天皇 ④ 醍醐天皇

(10) 下線部(h)は、百済からもたらされた仏像の扱いをめぐる天皇の諮問に対し、ある人物から提出された意見に反対する立場で述べられたものである。その人物と意見について正しく述べた短文を、次から1つ選びなさい。

- ① 蘇我馬子。朝鮮半島伝来の仏教の方が、日本古来の神祇信仰より大きな威力を持っているとの意見。
② 聖徳太子。三宝を敬えば豪族間の和が保たれるとの意見。
③ 蘇我稲目。西方の諸外国がみな仏教を信奉しているのに、日本だけが背くべきではないとの意見。
④ 聖徳太子。隋の皇帝が「菩薩天子」を名乗り、仏法興隆に尽くしているとの意見。

ヲハジメテ院中ニテシラセ給。後ニ出家セサセ給テモ猶ソノマヽニテ御一期ハス
 ゴサセマシマシキ。オリキニテ世ヲシラセ給コト昔ハナカリシナリ。…主上ヲサ
 ナクオハシマス時ハヒトヘニ執柄ノ政ナリキ。宇治ノ大臣^{おとど}ノ世トナリテ…後三
 条院^{(4)⑤}、坊ノ御時ヨリアシザマニオボシメスヨシキコエテ、…踐祚ノ時^{④すなわち}即
 (4)ヲヤメテ宇治ニコモラレヌ。(中略)此御代ニハ院ニテ政ヲキカセ給ヘ
 バ、執柄ハタゞ職ニソナハリタルバカリニナリヌ。サレドコレヨリ又フルキスガ
 タハ一変スルニヤ侍^{はべり}ケン。執柄世ヲオコナハレシカド、宣旨・(5)ニテコソ
 天下ノ事ハ施行セラレシニ、此御時ヨリ(6)・^{ちようのおんくだしふみ}庁 御下文ヲオモクセラレシ
 ニヨリテ在位ノ君又位ニソナワリ給ヘルバカリナリ、世ノ末ニナレルスガタナル
 ベキニヤ。(神皇正統記)
 (5)

問1 上記の史料の空欄(1)～(6)に相当する事柄を説明するのにもつ
 とも適切なものを下から選びなさい。

- ① 公卿の仰せを家司が奉じて発給した文書。
- ② 天皇を補佐して政務を執行する職。
- ③ 太政官へ上申する文書。
- ④ 上皇より直接下達される文書。
- ⑤ 任国に赴任する国司(通常は守)をいう。徴税請負人的性格を強めていっ
 た。
- ⑥ 一家が帰依している寺で寺請証文などを発行した。
- ⑦ 下級官司から上級官司に上申する文書。
- ⑧ 国司に任命されながら現地に赴任せず、公廩稻の配分をうけた。
- ⑨ 幼少の天皇に代わって政務を執り行う職。
- ⑩ 成功の一種で任期満了後に同じ官職に再任されること。
- ⑪ 法勝寺は二町四方以上の寺域を誇った。
- ⑫ 太政官から下達される文書。

問2 上記の史料の下線部(1)～(5)にもっとも関係の深い人名または事柄を下から
選びなさい。

- ① 慈円 ② 藤原頼通 ③ 法皇 ④ 王朝国家
- ⑤ 藤原教通 ⑥ 北畠顕家 ⑦ 堀河天皇 ⑧ 院分国制
- ⑨ 北畠親房 ⑩ 新皇 ⑪ 開元領主 ⑫ 上皇
- ⑬ 藤原道長 ⑭ 荘園公領制 ⑮ 親政

問3 上記の史料の下線部①～③の人物と関係の深い事柄を下から選びなさい。
ただし、その答えが複数ある場合は、そのすべてを答えなさい。

- ① 『梁塵秘抄』を編んだ。
- ② 平正盛を重用した。
- ③ 延喜の荘園整理令を出した。
- ④ 宣旨柙を公定した。
- ⑤ 西面の武士を設置した。
- ⑥ 大輪田泊を修築して日宋貿易を推進した。
- ⑦ 延久の荘園整理令を出した。
- ⑧ 『御堂関白記』を著した。
- ⑨ 北面の武士を設置した。
- ⑩ 平治の乱後、蓮華王院を造営した。
- ⑪ 大江匡房を侍講とした。
- ⑫ 「天下三不如意」の世相を現出した。
- ⑬ 都を福原京に移した。
- ⑭ 平等院鳳凰堂を建立した。
- ⑮ 藤原通憲を重用した。

3

次の長崎貿易の歴史に関する文章を読んで、各問いに答えなさい。

長崎は、1571年(元亀2)ポルトガル人とキリスト教宣教師、および当時の領主が貿易港として開発をはじめ、岬の上に建設した町である。当初は島原町、平戸町など六カ町で構成されていた。1580年(天正8)には、教会領とされ、貿易とキリスト教の都市となった。1587年(天正15)に出された伴天連追放令と九州仕置の結果、長崎は豊臣秀吉の蔵入地となった。近世の鎖国時代には幕領として長崎奉行がおかれ、対外的にわずかな外国に限定的に開かれた貿易港として機能し続けた。寛文年間の頃、内町26カ町、外町51カ町を含む80カ町となり、戸数は9,300、人数40,000余りに発展した。1868年(明治元)長崎府、69年長崎県として一時政府の直轄領とされたが、78年長崎区となった。

問1 長崎は、当初キリシタンとなった領主とキリスト教の修道会との関係によって発展している。その領主と修道会の組み合わせとして正しい記号を選びなさい。

- | | |
|-----------------|----------------|
| ① イエズス会-大友宗麟 | ② ドミニコ会-大友宗麟 |
| ③ フランシスコ会-龍造寺隆信 | ④ イエズス会-島津貴久 |
| ⑤ フランシスコ会-大村純忠 | ⑥ ドミニコ会-大村純忠 |
| ⑦ フランシスコ会-島津貴久 | ⑧ イエズス会-大村純忠 |
| ⑨ ドミニコ会-島津貴久 | ⑩ フランシスコ会-大友宗麟 |
| ⑪ イエズス会-龍造寺隆信 | ⑫ ドミニコ会-龍造寺隆信 |

問2 長崎は教会領として当地の領主によって寄進がなされたという。この寄進を受けた側の当時の責任者は誰か。人名を選びなさい。

- | | |
|----------------------|---------------|
| ① フランシスコ・ザビエル | ② ガスパル・ヴィレラ |
| ③ ルイス・フロイス | ④ フランシスコ・カブラル |
| ⑤ アレッサンドロ・ヴァリニャーノ(ニ) | ⑥ ジョアン・ロドリゲス |
| ⑦ ルイス・ソテロ | ⑧ ペトロ・パウチスタ |
| ⑨ ヤン・ヨーステン | ⑩ ウィリアム・アダムス |

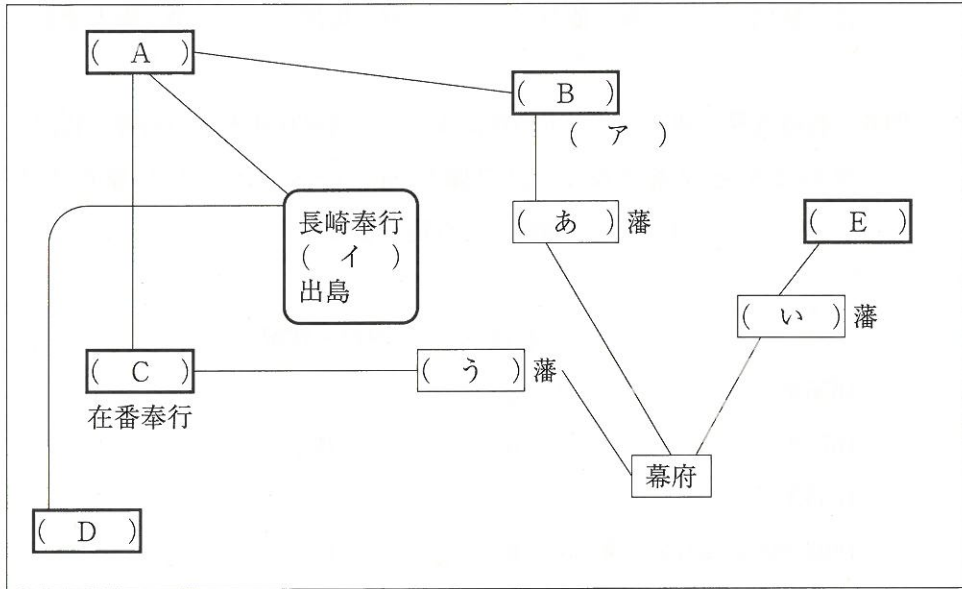
問3 長崎奉行は「遠国奉行」の一人とされる。以下に掲げる地名につき「遠国奉行」がおかれなかった地はどれか。

- ① 山田 ② 日光 ③ 佐渡 ④ 下田 ⑤ 伏見 ⑥ 奈良
⑦ 堺 ⑧ 博多

問4 次の短文は、長崎におかれた「出島」に関する記述である。下線部分①～⑤の記述に誤りがあるものはどれか。すべて選びなさい。

長崎港内の約4,000坪の埋め立て地である。1634年設置され、1636年、^①一旦ポルトガル人を収容したが、1639年同国人が追放を命じられたため、1640年にはオランダ商館が移された。^②内部には商館長の部屋であるカピタン部屋、^③通訳官のための通詞部屋、乙名部屋、南蛮人部屋のほか土蔵、菜園、家畜小屋があった。^④出島のオランダ人は自由な外出を禁止され、日本人の出入りも町年寄などの役人や指定商人以外は立ち入ることができなかった。^⑤

問5 次の図は、貿易港長崎と江戸の対外貿易について、その関係を説明したものである。以下の文章を参考にして、空欄に当てはまる語句を語群から選びなさい。(A)～(E)には国名ないしは民族名, (あ)～(う)は藩名, (ア), (イ)には関連施設名がはいるものとする。



- ・ (A)と(B)は、冊封・朝貢の関係にある。
- ・ (A)と長崎の関係は、商船の往来と、密貿易取り締まりのため長崎に屋敷が設置されたことである。
- ・ (B)と(あ)の関係は、1609年の条約締結で貿易船の往来と使節の江戸参府手引きである。
- ・ (C)は(う)に、1609年、服属した。
- ・ (C)と(A)は、冊封・朝貢の関係にある。
- ・ (D)と長崎の関係は、海外情報の報告書提出と出島での管理である。
- ・ (E)と(い)の関係は、支配と俵物などの交易である。幕府が特定地域における交易権を家臣に知行として与える「商場知行制」が成立した。

〔語群〕

- | | | | |
|--------|---------|--------|--------|
| ① 明・清 | ② 宋 | ③ 台湾 | ④ 琉球 |
| ⑤ オランダ | ⑥ ポルトガル | ⑦ イギリス | ⑧ スペイン |
| ⑨ 朝鮮 | ⑩ 蝦夷 | ⑪ 渤海 | ⑫ 対馬 |
| ⑬ 鍋島 | ⑭ 薩摩 | ⑮ 長州 | ⑯ 松前 |
| ⑰ 秋田 | ⑱ 仙台 | ⑲ 倭館 | ⑳ 唐人屋敷 |

問6 長崎貿易に関して、以下の年に成立した貿易仕法とその内容・状況の組み合わせを完成させなさい。空欄(a)～(e)には語群Ⅰから、
〈 A 〉～〈 E 〉には語群Ⅱから選ぶこと。

	仕法	内容・状況
1655年	(a)	〈 A 〉
1672年	(b)	〈 B 〉
1685年	(c)	〈 C 〉
1698(96の二説あり)年	(d)	〈 D 〉
1715年	(e)	〈 E 〉

〔語群Ⅰ〕

- | | | |
|----------------|----------|--------|
| ① 御定高制 | ② 海舶互市新例 | ③ 朱印船制 |
| ④ 勘合符制 | ⑤ 長崎会所設置 | ⑥ 奉書船 |
| ⑦ 相對貿易 | ⑧ 場所請負制 | ⑨ 糸割符制 |
| ⑩ 市法貨物商法(市法売買) | | |

〔語群Ⅱ〕

- ① 輸出品集荷の強化にむけて、幕府が貿易統制のための機関を設置。中国・オランダ貿易の会計事務を管掌。
- ② 金銀流出防止のため会所を設置。取引は、長崎奉行らが、船載品の質・国内市場価格を勘案し安くつけた価格を外国商人に伝え、承諾した品物のみを一括購入するなど。
- ③ 信牌(入港証)を用いた貿易額の制限。長崎町民に対しては貿易出来高にかかわらず配分銀などを保証。
- ④ 糸割符制度を廃止し、売手と買手の当事者が直接値段を決めて売買すること。
- ⑤ 糸割符制度の復活、および外国船は銀、金ともに上限(いくつかの説がある)が定められ、その後、抜荷(密貿易)が急増した。

4

問1 次の文章の空欄(a)～(i)に当てはまる語句を、以下の語群から1つずつ選びなさい。同じものを何回選んでもよい。

1930年代後半になって、ヨーロッパではナチス・ドイツが近隣する地域への侵略に着手する一方、日本とは(a)年に結んだ防共協定を強化することを提案したが、日本側は、どうするか結論にはなかなかいかなかった。そのような中、ドイツは1939年(b)月、それまでお互いに敵視し合ってきたソ連と(c)条約を締結したため、日本の(d)内閣は、この年のソ連との(e)事件での大敗もあって、「ヨーロッパ情勢は複雑怪奇」との言葉をのこして、国際情勢への対応不能を理由に総辞職した。

この年の9月、ドイツが(f)への侵攻を開始すると、英仏は対独宣戦布告を行い、第二次世界大戦が勃発した。上の内閣のあと、(g)内閣が発足し、大戦には不介入の方針をとる一方、日中戦争の解決に努めたもの

の、不調に終わったため、翌1940年1月に総辞職した。そのあとをうけて、(h)内閣が成立し、やはり大戦への不介入方針をとったが、この年春からのヨーロッパにおけるドイツの軍事的侵攻開始と6月のフランスの対独降伏などをうけて、陸軍は、ドイツへの接近をはかるべく、陸相(i)を単独で辞任させて、後任を出さず、内閣を総辞職に追い込んだ。

[語群]

- | | | |
|------------|--------|-----------|
| ① 上原勇作 | ② 近衛文麿 | ③ ノモンハン |
| ④ オーストリア | ⑤ 7 | ⑥ 不可侵 |
| ⑦ 阿部信行 | ⑧ 1937 | ⑨ 平沼騏一郎 |
| ⑩ 米内光政 | ⑪ 相互援助 | ⑫ カンチャーズ島 |
| ⑬ 岡田啓介 | ⑭ 1935 | ⑮ 斎藤実 |
| ⑯ チェコスロバキア | ⑰ 1936 | ⑱ 畑俊六 |
| ⑲ 中立 | ⑳ 1938 | ㉑ 寺内寿一 |
| ㉒ 6 | ㉓ 宇垣一成 | ㉔ 8 |
| ㉕ ポーランド | ㉖ 広田弘毅 | ㉗ 林銑十郎 |
| ㉘ 張鼓峰 | | |

問2 次の文章の空欄(a)～(k)に当てはまる語句を、以下の語群から1つずつ選びなさい。同じものを何回選んでもよい。

問1の総辞職に追い込まれた内閣のあとをうけて、(a)新内閣が成立したが、大戦への不介入方針の転換、独伊ソとの提携強化、積極的な南進などが決まった。これをうけて、外相の(b)が主導する形で1940年(c)月、日独伊三国同盟が締結されたが、これは事実上、米国を仮想敵国とするものであり、結果的に米国の反発をかえってよぶことになり、米国からは各種の経済制裁措置がとられるにいたった。そのため、この内閣は、日米間の衝突をさけるため、駐米日本大使(d)と米国国務長官(e)とのあいだの政府間交渉として日米交渉を開始した。一方、時の外相は同時

期、独伊ソを訪問する中でソ連とのあいだで(f)条約を締結し、南進のための北方の安全の確保、米国の牽制などをはかった。

しかし、ドイツが1941年(g)月、ソ連に侵攻して、独ソ戦が勃発した。それをうけて、天皇が臨席した御前会議は、陸海軍の主張をいれて、対米英戦を覚悟した上での南方進出と独ソ戦の展開次第による対ソ戦の両方を決定した。そして、内閣は、日米交渉を継続すべく、対米強硬論を主張した外相を除くため、いったん総辞職し、再度組閣した直後に(h)に進駐した。そのため、米国はさらなる対日経済制裁措置をとり、陸海軍は、圧力をはねかえすためには対米戦にふみきるほかないと主張した。

その後の御前会議では、日米交渉の期限を区切って、不成立の際は対米開戦にふみきることを決定した。そして、日米交渉が妥協しないままその期限がきたが、交渉の継続・妥結を望む首相と交渉の打ち切りと開戦を主張する陸相(i)が対立して、内閣は結局、総辞職した。

内大臣(j)の推挙をうけて、後継首相には(k)が就いた。彼の内閣も当面、日米交渉を継続させたものの、米国側の提案が満州事変以前の状態に戻ることを要求する最後通牒にも等しいものと日本側がうけとったため、交渉の成立は絶望的となった。そして、12月8日、日本陸軍が英領マレー、海軍がハワイの真珠湾を攻撃して、太平洋戦争が始まった。

〔語群〕

- | | | |
|---------|---------|----------|
| ① 小磯国昭 | ② 5 | ③ 有田八郎 |
| ④ 不可侵 | ⑤ 広田弘毅 | ⑥ グルー |
| ⑦ 北部仏印 | ⑧ 米内光政 | ⑨ 相互防衛 |
| ⑩ 7 | ⑪ 東条英機 | ⑫ スティムソン |
| ⑬ 8 | ⑭ 幣原喜重郎 | ⑮ 木戸孝允 |
| ⑯ 大島浩 | ⑰ 松岡洋右 | ⑱ 6 |
| ⑲ 来栖三郎 | ⑳ 蘭印 | ㉑ 南部仏印 |
| ㉒ 近衛文麿 | ㉓ 中立 | ㉔ 東郷茂徳 |
| ㉕ 野村吉三郎 | ㉖ ハル | ㉗ 西園寺公望 |
| ㉘ 9 | ㉙ 木戸幸一 | ㉚ 10 |
| ㉛ 鈴木貫太郎 | ㉜ 重光葵 | |





